

多くの皆さまからご回答をいただきました。大変ありがとうございました。
アンケートの結果をご報告します。

幅広い職業、年齢、居住地の方の意識を知ることができる調査になりました。

問4, 5の外国につながる高校生に関する知識では、教育に関わられている方と企業関係者・学生の間で、理解度の差が顕著に表れています。

視聴者数 589名
アンケート回答者数 359名
回答者率 61%

	実視聴者数
教育関係者	209
NPOなど市民団体	84
国・自治体関係者	37
企業関係者	74
学生	107
自営業	9
その他	69
合計	589

	回答者数	回答率
教育関係者	143	68.4%
NPOなど市民団体	65	77.4%
国・自治体関係者	18	48.6%
企業関係者	26	35.1%
学生	67	62.6%
自営業	5	55.6%
その他	37	53.6%
合計	359	61.0%

	A		B		B/A
	実視聴者数	構成率	アンケート回答者数	構成率	アンケート回答率
～10才代	31	5.3%	23	3.9%	74.2%
20才台	90	15.3%	50	8.5%	55.6%
30才台	60	10.2%	27	4.6%	45.0%
40才台	128	21.7%	83	14.1%	64.8%
50才台	144	24.4%	84	14.3%	58.3%
60才台	116	19.7%	82	13.9%	70.7%
70才～	20	3.4%	10	1.7%	50.0%
合計	589	100.0%	359	61.0%	61.0%

ご視聴後のアンケート結果

視聴者数	589名
アンケート回答者数	359名
回答者率	61%

質問 1 関心のあったセッションはどれですか(複数回答可)

基調講演 北山課長	89
特別講演 竹沢教授	54
財界人座談会	106
パネル討論	157

質問 2 シンポジウムの満足度を教えてください

平均 4.1 (5段階評価)

質問 12 日本が「互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築く」多文化共生社会になるために必要だと思うことは何だと思いますか(複数回答可)

多文化社会の理解促進	160	16.7%
多文化共有経験を多く持つ	207	21.7%
偏見や思いこみの克服	206	21.5%
社会制度風習の見直し	138	14.4%
政府・自治体の政策見直し	227	23.7%
その他	18	1.9%
合計	956	100.0%

質問 4 外国につながる高校生のことを知っていましたか

はい	326	90.8%
いいえ	31	0.9%
無回答	0	0

質問 5 あなたの地域や周辺では、外国につながる高校生への支援は十分だと思いますか

はい	21	5.8%
いいえ	279	77.7%
不明	59	16.4%

質問 8 日本に住む外国につながる高校生の置かれた状況についてどのように思いますか?

日本人と同等かそれ以上	1	0.0%
日本人より少し困難な状況	57	15.9%
日本人より大いに困難な状況	302	84.1%

質問 6 あなたの地域や周辺では、外国につながる高校生や大学生の就労にハンデがあると思いますか

はい	303	84.4%
いいえ	9	2.5%
不明	46	12.8%

質問 7 あなたの地域や周辺では、外国につながる小中学生への支援が十分だと思いますか

はい	41	11.4%
いいえ	263	73.4%
不明	55	15.3%

質問 9 外国につながる高校生の課題の根本的な原因は何でしょうか?

外国につながる高校生の資質	3	0.8%
日本の学校制度	139	38.7%
親の経済環境と意識	69	19.2%
外国人への日本人の偏見	65	18.1%
その他	83	23.1%

質問 16 本日のシンポジウムに参加したいと思った理由は何でしたか? (複数回答可) 359

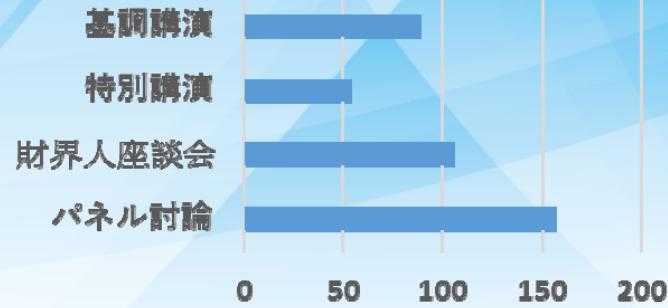
シンポジウムのテーマに興味	272	36.1%
スピーカーに興味	101	13.4%
深刻な社会問題として理解したい	88	11.7%
身近にいる外国繋がり子どもたちの支援のため	146	19.4%
多文化共生について知りたい	121	16.0%
その他	26	3.4%

複数回答許容

754

質問 1 関心のあったセッション

基調講演	89
特別講演	54
財界人座談会	106
パネル討論	157



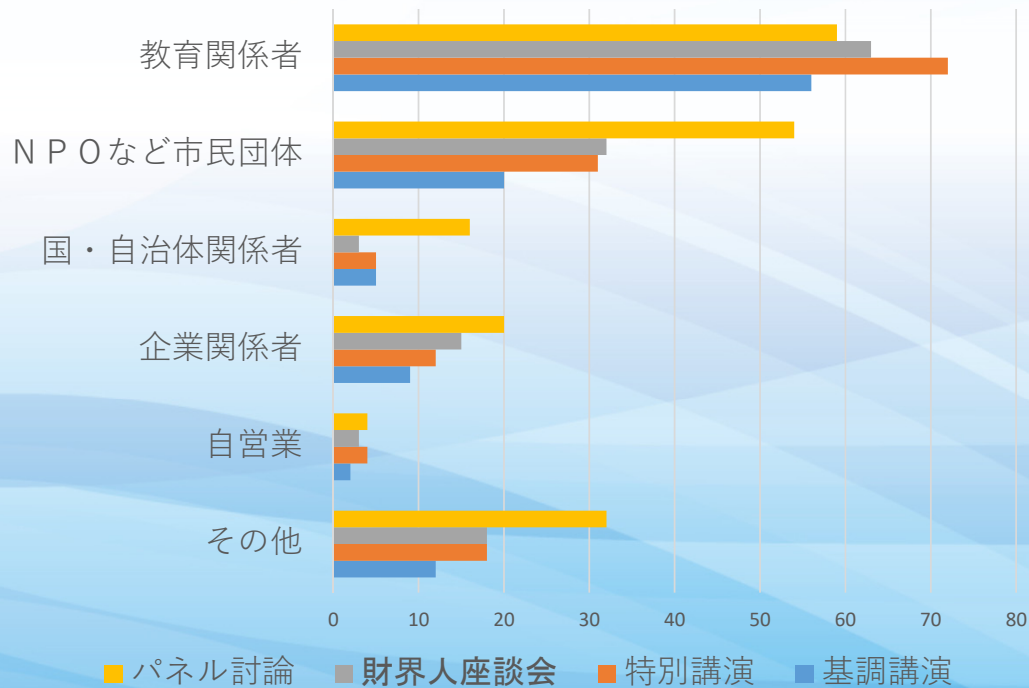
・全てのセッションが集客に貢献

質問 2 シンポジウムの満足度

5段階評価	4.1
-------	-----

	評価	人数
教育関係者	3.9	209
NPOなど市民団体	4.3	84
国・自治体関係者	4.3	37
企業関係者	4.2	74
学生	4	107
自営業	4	9
その他	4	69
合計	4.1	589

視聴者の関心があったセッション(複数回答)

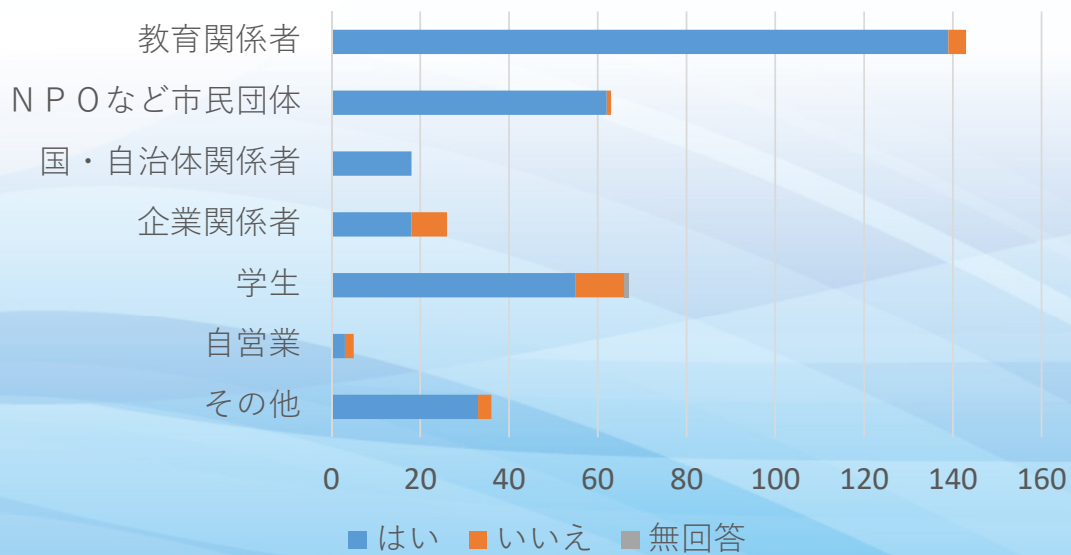


質問 4 外国につながる高校生のことを
知っていましたか

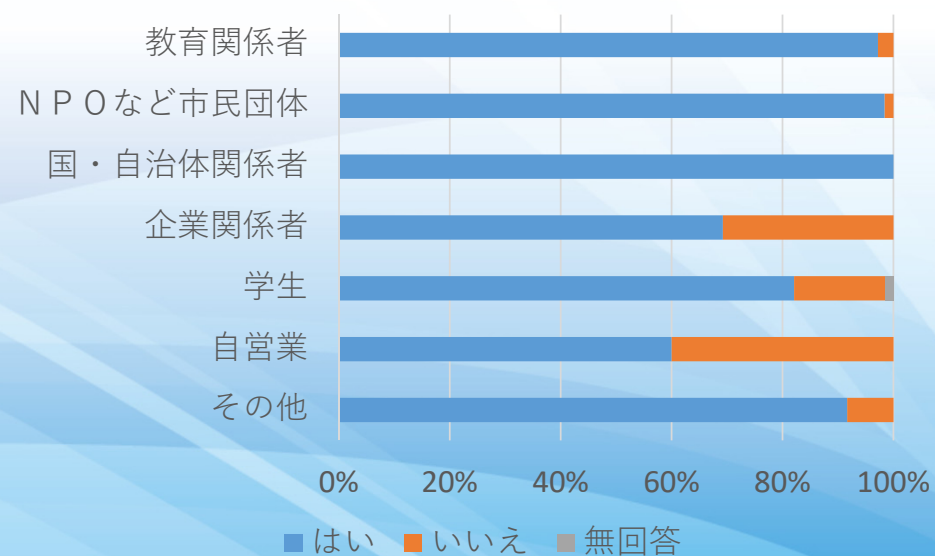
はい	328	90.8%
いいえ	31	0.9%
無回答	0	0

Q4	はい	いいえ	無回答
教育関係者	139	4	0
NPOなど市民団体	62	1	0
国・自治体関係者	18	0	0
企業関係者	18	8	0
学生	55	11	1
自営業	3	2	0
その他	33	3	0
合計	328	29	1

問4 知っていましたか



問4 知っていましたか

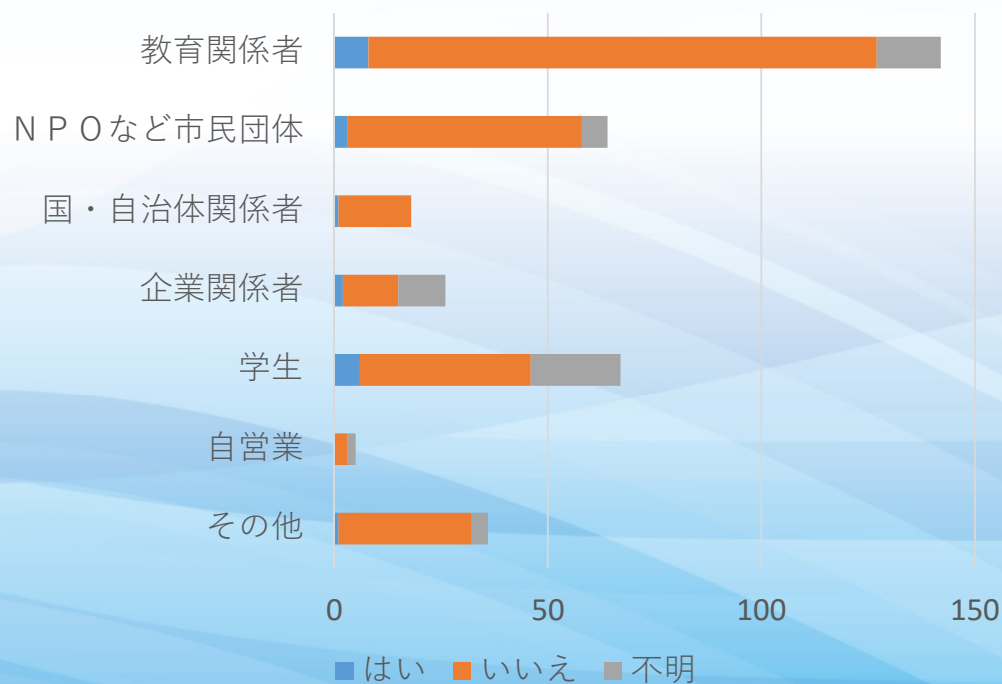


質問 5 あなたの地域や周辺では、外国につながる高校生への支援は十分だと思いますか

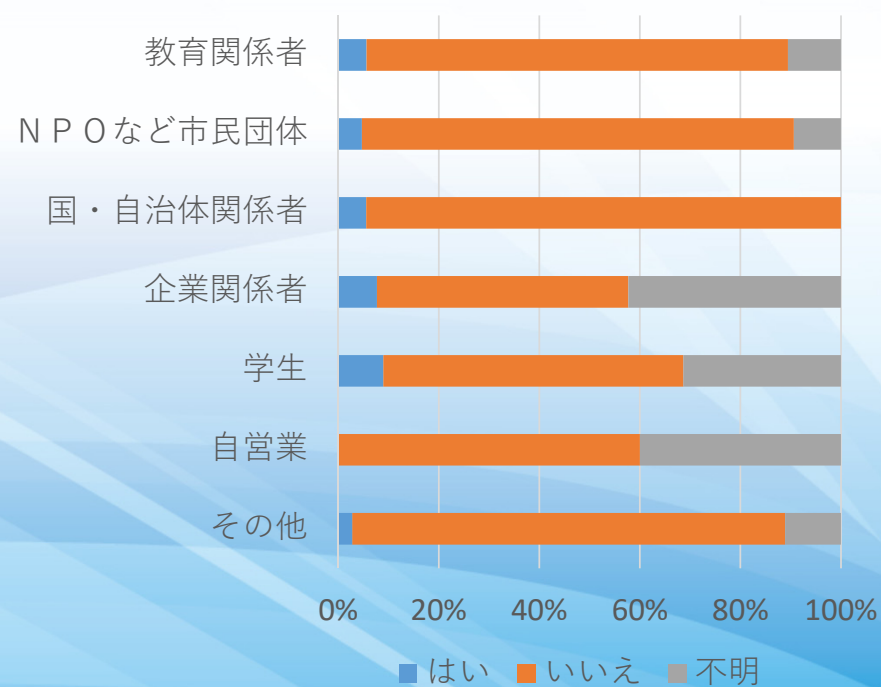
はい	21	5.8%
いいえ	279	77.7%
不明	59	16.4%

Q5	はい	いいえ	不明
教育関係者	8	119	15
NPOなど市民団体	3	55	6
国・自治体関係者	1	17	0
企業関係者	2	13	11
学生	6	40	21
自営業	0	3	2
その他	1	31	4

問5 高校生への支援が十分か



問5 高校生への支援が十分か

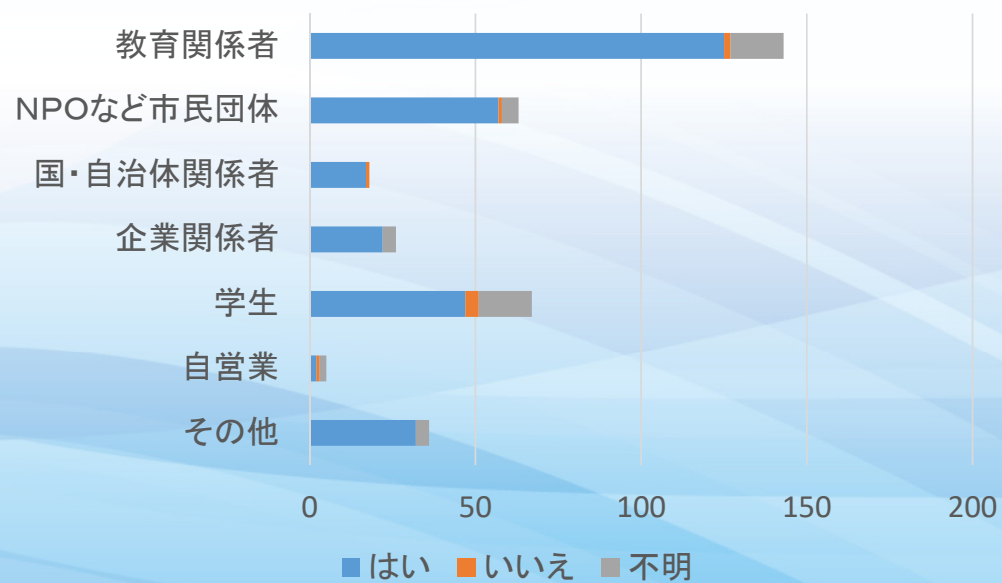


質問 6 あなたの地域や周辺では、外国につながる高校生や大学生の就労にハンデがあると思いますか

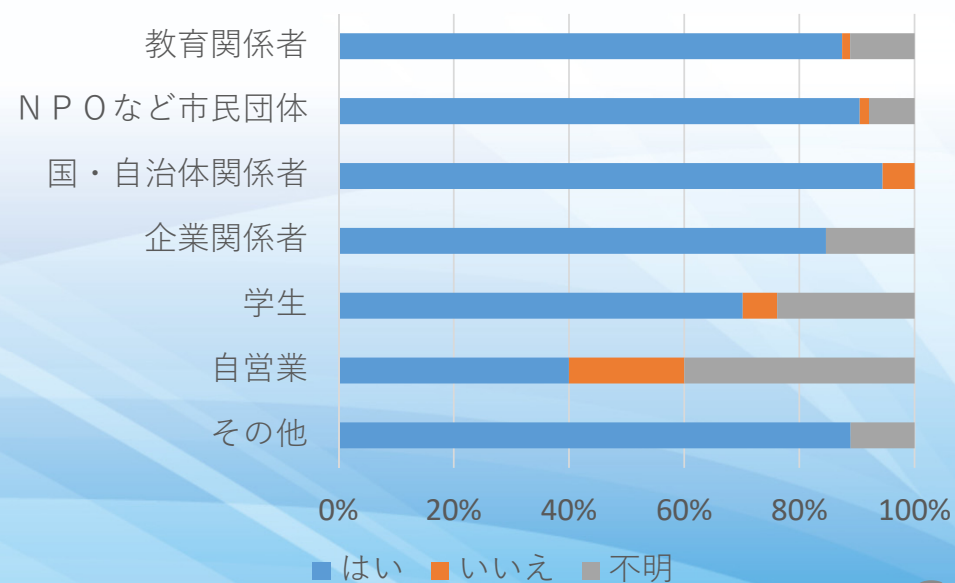
回答	人数	割合
はい	303	84.4%
いいえ	9	2.5%
不明	46	12.8%

Q6	はい	いいえ	不明
教育関係者	125	2	16
NPOなど市民団体	57	1	5
国・自治体関係者	17	1	0
企業関係者	22	0	4
学生	47	4	16
自営業	2	1	2
その他	32	0	4
合計	302	9	47

問6 ハンデがあるか



問6 ハンデがあるか

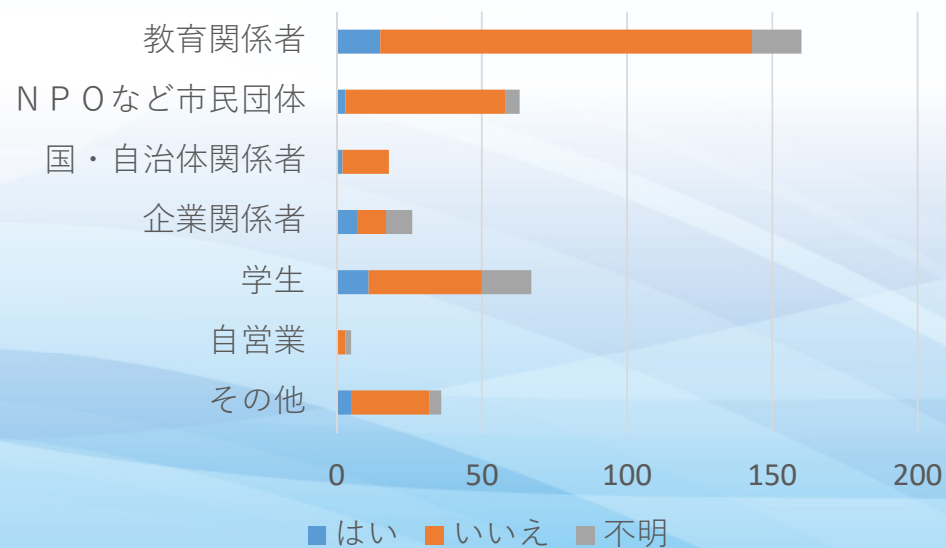


質問 7 あなたの地域や周辺では、外国につながる
小中学生への支援が十分だと思いますか

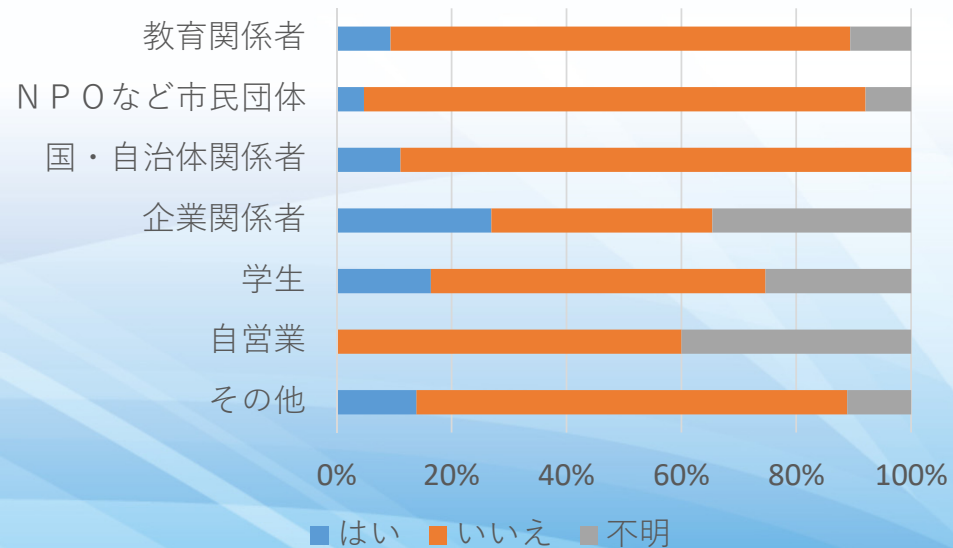
はい	41	11.4%
いいえ	263	73.4%
不明	55	15.3%

Q7	はい	いいえ	不明
教育関係者	15	128	17
NPOなど市民団体	3	55	5
国・自治体関係者	2	16	0
企業関係者	7	10	9
学生	11	39	17
自営業	0	3	2
その他	5	27	4
合計	43	278	54

問 7 小中学生への支援十分か



問 7 小中学生への支援十分か

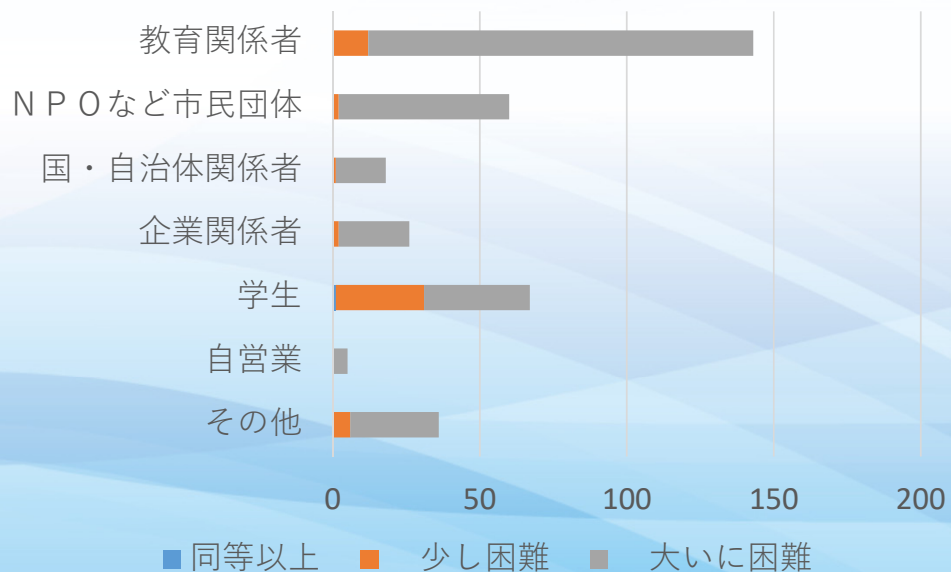


質問 8 日本に住む外国につながる高校生の置かれた状況についてどのように思いますか？

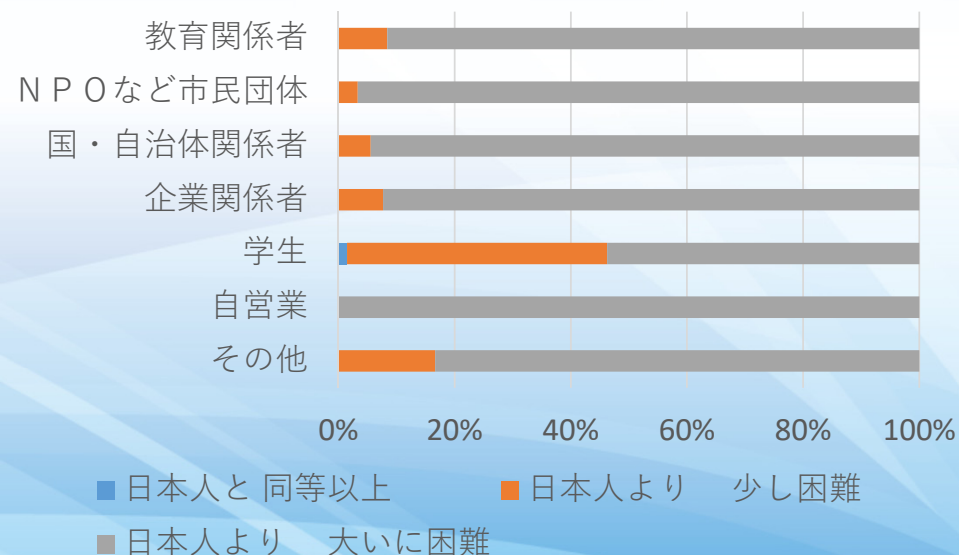
日本人と同等かそれ以上	1	0.0%
日本人より少し困難な状況	57	15.9%
日本人より大いに困難な状況	302	84.1%

Q8	日本人と同等・以上	日本人より少し困難	日本人より大いに困難
	教育関係者	0	12
NPOなど市民団体	0	5	58
国・自治体関係者	0	1	17
企業関係者	0	2	24
学生	1	30	36
自営業	0	0	5
その他	0	6	30
合計	1	56	301

問 8 置かれた状況



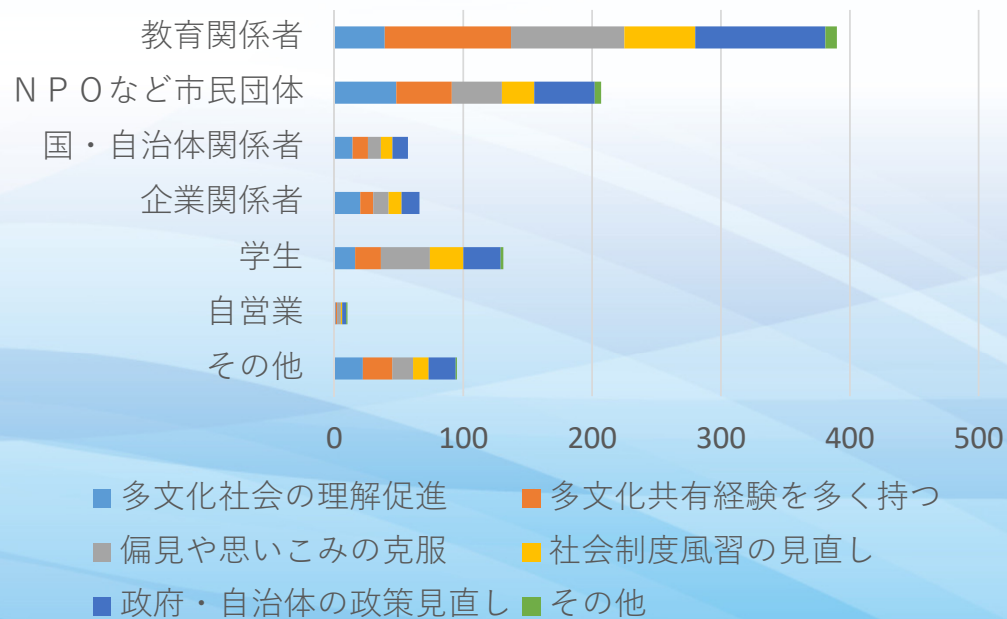
問 8 置かれた状況



質問 12 日本が「互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築く」多文化共生社会になるために必要だと思うことは何だと思いますか
(複数回答可)

	多文化社会の理解促進	多文化共有経験を多く持つ	偏見や思いこみの克服	社会制度風習の見直し	政府・自治体の政策見直し	その他
教育関係者	39	98	88	55	101	9
NPOなど市民団体	48	43	39	25	47	5
国・自治体関係者	14	12	10	9	12	0
企業関係者	20	10	12	10	14	0
学生	16	20	38	26	29	2
自営業	1	1	3	1	3	1
その他	22	23	16	12	21	1
合計	160	207	206	138	227	18

問12 多文化社会実現に必要なこと



問12 多文化社会実現に必要なこと

